

## 予防こそが最大の武器です

### ～新型コロナウイルス対策の今～

副院長・感染対策委員長 佐藤いづみ



#### ★話題のPCR検査は唾液を材料にかりつけ医のところで：

前回の記事から半年経ちましたが、全国の都市部では感染の抑え込みに苦悩しています。しかしありがたい事には、山形県では感染者81名と死者1名にとどまり、中でも庄内保健所管内では、死者もなく、遊佐町では感染者すら1名も出さずに済んでいます。これは今に限る話としても、特筆すべきことではないでしょうか。このような中で、政府は東京も含め自粛解除へと大きく方針を転換し、解除後の行動をより安全なものにするための医学的根拠として、唾液を使うPCR検査法の採用を決めました。鼻咽喉からの材料採取に比べ、唾液のほうが安全に扱えるため、今月中にPCR検査を全国展開し、遅くとも年内にはかかりつけ医のところでPCR検査が受けられるように、準備は急ピッチで進んでいます。幸いなことにこの半年間で新型コロナウイルス感染症（以下COVID-19と略）の感染経路の特徴（密閉・密集・密接の3密に、秘密の場所を加えて4密等）がいろいろ分り、人口減少が進む遊佐町では、この地域性が3密4密の回避に有利に働くのか、COVID-19は気配もありません。これもひとえに皆様が、職場やご家庭で日々ご自分のこととして予防に努め、普段のマスク着用で手洗い、頻繁な手指アルコール消毒や接触部位の消毒等の基本的感染対策を怠らず、さらには身内を案ずる気持ちを抑えて不要不急の往來をやめ、遠方の家族には移動の自粛・来県自粛をいち早く強く呼びかけてくださったことの賜物と思います。そのおかげで当院も含め地域が今、安全であるのに違いなく、当院一同、感謝の気持ちでいっぱいです。

#### ★季節性インフルエンザの予防接種が始まりました：

10月。いよいよ季節性インフルエンザやノロウイルス等の季節が到来しましたが、それらも今春は激減し、救急外来や夜間休日診療所では、運営会議の席上で冗談交じりに閉鎖が話題にのぼる程です。しかし、新型コロナウイルス対策のワクチンや治療薬はまだ開発途上で確かな目途はたたず、正式な採用は令和3年早々だろうか、いや夏頃かと憶測は乱れ飛ぶばかりです。せめて季節性インフルエンザの予防接種とお子さんたちの各種の定期接種は、不都合のない限り、確実に済ませておきましょう。そのうえで私どもは、慎重な遊佐町の皆様の日々の行いを頼りに、「石の上にも3年」の喩のとおり、腰をすえ、じっとCOVID-19の終息を待ちたいと思います。

## 遊佐中学校2年生

### 「職業人に学ぶ」出前授業

地域医療連携室室長 佐藤真紀

令和2年9月9日町立遊佐中学校よりご依頼があり、2年生を対象に「看護師」という職業についてお話する機会を頂きました。昨年度までは当院での職場体験学習として生徒さんを受け入れていましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の事もあり、中学校にお邪魔してお話することになりました。私を含めて12の職業人が、それぞれの教室で1時間の「授業」を2回するという感じで、場慣れしていない私はとても緊張してしまいました。

生徒さんは2つの職業を選択しており、私の話は計14名の生徒さんが聞きに来てくれました。将来看護師や保健師になりたいと思って聞きに来てくれた生徒さん、何となく興味があって来てくれた生徒さんなど様々だと思いますが、みんなキラキラした目で聞いてくれて私もいつの間にか緊張を忘れ楽しく話すことが出来ました。血圧測定や聴診器での体験もして生徒さんも楽しそうでした。これからの遊佐町を担う可能性豊かな中学生が、働くということや将来の進路について考えるきっかけとなり、そして看護師の仕事に少しでも興味を持ってもらえたらうれしいなと思います。私は今回のお話を頂いてから、自分の中学生時代から現在までを振り返りました。なぜ看護師になったか、看護師として何を大切に思っているか、そして今地域に密着した順仁堂遊佐病院で看護師の仕事にやりがいをもって働くことが出来ていることを改めて実感しました。地域医療連携室の看護師は相談や調整役が多いのですが、住み慣れた町で暮らしている患者さんご家族に寄り添う気持ちを忘れずにこれからも働いていきたいと思えます。貴重な経験をさせていただきどうもありがとうございました。今度はぜひ他の職業の方のお話も聞いてみたいなと思いました。

#### ★当院では現在、次のような対策を行っています：

少々どくなりませんが、ご容赦ください。

- 1) 入退院について。ご本人はやむを得ないかもしれませんが、付き添ってこられるケアマネジャーや送迎の介護員、ご家族の方々には、玄関でのアルコール手指消毒、マスク着用、使い捨てガウンの装着など、引き続きご協力をお願いいたします。日中は担当者がいますので、指示に従ってください。
- 2) 面会。直接対面はお断りさせていただきますが、スマホやiPadを利用したWeb面会をご案内いたしますのでお申し出ください。
- 3) 洗濯物等の受け渡しも、時間帯により正面玄関や夜間入退院口をお願いいたします。病棟看護師が受け渡しに参ります。
- 4) 入退院に伴うケアマネジャーやご家族とのカンファレンスは、感染対策を取ったうえで、必要度の高いケースから順次再開しています。
- 5) ショートステイの新規受け入れも再開しますので担当者にご相談ください。
- 6) 訪問診療・訪問看護の新規受け入れも、担当者にご相談ください。
- 7) 外来受診。受診時に、新型コロナウイルス感染者との濃厚接触の有無につき問診票の記入をお願いしています。プライベートなことですが、感染対策上重要ですので、ご協力のほど、よろしくをお願いいたします。
- 8) 外来ではソーシャル・ディスタンス（1.5m～2m）への協力をお願いします。換気には十分配慮していますが、大声での会話はお控えください。会話を楽しみにおいでになる方には大変申し訳ありませんが、新型コロナの脅威に免じてご容赦ください。
- 9) 発熱や風邪症状のある方は、ご本人かご家族が電話で事前にご相談ください。簡単な問診をした上で対応いたしますので、ご面倒でもご協力をお願いします。
- 10) 当院では、新型コロナウイルスのPCR検査は（検体のみの取り扱いも含め）行いません。新型コロナウイルスのPCR検査をご希望の方は、ただいま（酒田市内）各所で準備中の、PCR検査とCOVID-19診療を行う病院・医院をご利用ください。
- 11) 問診のうえ個々の事例で判断させていただきますが、インフルエンザ抗原検査も、当面は実施しない予定です。
- 12) BlueToothが使えるスマートフォンをお持ちの方は、COCOA（厚労省が勧める登録濃厚接触者・感染者検出アプリ）を是非ご利用ください。
- 13) 職員研修や会議への参加も再開しましたが、私的な会合や会食の自粛は継続中。

★最後に。新聞テレビ等のメディアには、連日、COVID-19関連記事が溢れていますが、関連記事への接触は最小限、できれば1日1～2回に留めましょう！メディアが煽る不安は静かに心に浸みこみ、じわじわと効いてきます。知らぬうちにうつ病やノイローゼで治療が必要になっては大変です。この状況下でも健やかな心を保つには、時には意識的に雑音を遮断し、マインド・フルネスで、つまり心を込めて、普通の暮らしを守ることも大切ですよ。



好奇心いっぱいのキラキラした瞳の生徒さんたちでした。



## 入院患者様の面会についてのお知らせ

新型コロナウイルス感染症などの院内感染防止のため、原則、面会はお断りしておりますが、患者様とご家族様がインターネットを活用した面会をしております。多くの方にご利用して頂くために予約制としておりますので予約の際はお問い合わせください。